

視<sub>点</sub>太平洋人材交流  
センターの役割

レンゴウ会長兼社長

## 大坪 清



関西経済界発展の一助として、

関西経済連合会や生産性本部の要職を引き受けているが、今般、6月15日付で、公益財団法人太平洋人材交流センター(PREX)の会長職を拝命した。PREXは、主として、アジア・太平洋地域の開発途上国の発展を促進するための人材育成協力を目的として、関西の産官学の総意により、1990年4月に発足した。ODA(政府開発援助)関連機関のJICA(国際協力機構)や、主要経済団体、海外カウンターパート等の委託を受け、「経営管理」「市場経済促進」「地域振

興」など、産業振興テーマを中心にマネジメント研修を実施してきている。これまでに受け入れた研修生は、146カ国・地域から1万6千人を超え、人材育成活動を通じて、関西での国際的人的交流を活発化するとともに、相互理解を深め、知日派・親日派形成にも大きく貢献してきた。

いかなる国もその発展の礎は人材にあり、その育成、教育が不可欠であることはいうまでもない。わが国が真のグローバル化を進めるうえでも、次世代の人材育成と人材交流は欠かせない。

関西は、あらゆる産業分野にわたり多彩な企業の拠点が集積するとともに、多くの優れた中小企業が生きた経営を行っていることから、開発途上国からも極めて高い関心が寄せられている。また、大学をはじめとする教育、研究機関も多く、研修、交流の場としても非常に恵まれた環境下にある。

PREXは今年で設立25周年を迎えたが、関係各位の厚い支援と協力により、着実に実績を積み重ねてきた。ルックイースト政策を提唱してきたマレーシアのマハティール元首相からも、「日本の中小企業は、その産業形成過程で伝統的な役割を果たした。PREXの研修プログラムはASEANの中小企業を支援できる。PREXは関西とASEANをつなぐ素晴らしいネットワークである」と高い評価をいただいている。

去る4月、安倍総理は米国連邦

議会上下両院合同会議での演説でTPPの締結を見据え、「生い立ちの異なるアジア・太平洋諸国に、いかなる国の恣意的な思惑にも左右されない、フェアで、ダイナミックで、持続可能な市場をつくりあげなければならぬ」と語り、自由民主主義、法の支配という共通の価値をベースとして、単なる経済的利益を超え、平和と繁栄の地域をつくりあげるといふ、その長期的な安全保障上の意義に触れられた。

このことから今こそ、教育、研修の場を通じた、アジア・太平洋地域の人と人との交流の実践が求められているのである。

PREXが関西の特色を生かしながら、国際的な人的交流と、相互理解進展の推進役として、今後ともその大きな使命を果たしていただけるよう、微力ながらお役に立てればと思っている。

